

聴覚障害者向け 介護予防イベント

「笑顔と健康の為に」

—日本調整療法協会と
宮城県聾啞協会の共同イベント—



「笑顔と健康の為に」

私たちNPO法人日本調整療法協会は身体を健康を支援するため、様々な方へ運動指導をはじめとし、健康である為に必要な情報・知識・ケア(身体調整療法)を中心に提供させて頂いております。

今回のイベントである「笑顔と健康の為に」は、介護予防イベントの一環として、聴覚障害者へ精力的に支援されています宮城県ろうあ協会と共同で開催させて頂きました。



宮城県聾啞協会との共同イベント



宮城県聾啞協会

宮城県聾啞協会とは？

宮城県内に居住する全ての聴覚障害者（約6,000人）の方々を対象にさまざまな情報保障、支援や生活訓練・学習を通じて聴覚障害者の社会参加を促進する団体です。

その目的は、ろうあ者の人権を尊重し文化水準の向上を図り、その福祉を増進することです。

「笑顔と健康の為に」 

宮城県聾啞協会との共同イベント



宮城県聾啞協会



日本調整療法協会

今回は宮城県聾啞協会に協力して頂き、視聴覚障害者向けへ運動指導、身体のケア(調整療法)をさせて頂けることとなりました。開催の目的としては、自立した健康を支援することにあります。

聾啞の方は聴覚が不自由な為、正しい情報・知識を得ることができないのが現状です。

健康は日頃の生活の中で、ちょっとした事に気を向けて頂ければ身体の機能は格段に向上します。

そういった情報を積極的に提供し、自立した健康な体と心を築いて頂ければと思い活動させて頂いております。

現状

**聾啞の方は正しい情報・知識
を得ることができない!!**

「笑顔と健康の為に」



◆聴覚障害者とは◆

聞こえの不自由な人を聴覚障害者と言いますが、聴覚障害の原因や種類、聞こえの程度が様々なため、聴覚障害者を分類し定義することは非常に難しいです。聴覚障害者は、「**中途失聴者**」、「**難聴者**」、「**ろう（あ）者**」に分かれますが、その人がどれに当たるかは、その人自身がどう思っているかというアイデンティティの問題でもあるのです。

「**中途失聴者**」と「**難聴者**」の両方を含む広い意味で「**難聴者**」という場合があります。

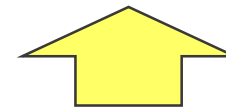
中途失聴者は、音声言語を獲得した後に聞こえなくなった人で、まったく聞こえない中途失聴者でも、ほとんどの人は話すことができます。

難聴者は、聞こえにくいけれど、まだ聴力が残っている人です。補聴器を使って会話できる人から、わずかな音しか入らない**難聴者**まで様々です。

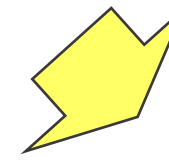
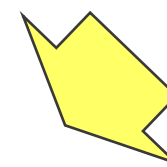
ろう（あ）者は、音声言語を習得する前に失聴した人で、そのため、手話を第一言語としている人がほとんどです。

参考：http://www1.plala.or.jp/t_nishimura/tyoukaku.htm

聾啞(ろうあ)者



聴覚障害



中途失聴者

難聴者

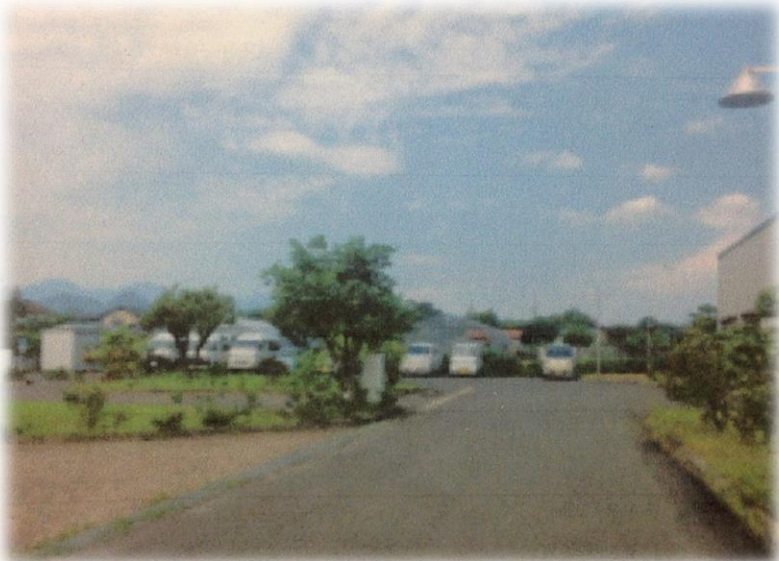
「笑顔と健康の為に」 

聴覚障害者向け 介護予防イベント

イベント会場：宮城県黒川郡大和町吉岡館下88

開催日時

第1回目	2013年7月28日
第2回目	2013年8月25日
第3回目	2013年10月27日
第4回目	2013年11月24日
第5回目	2013年12月15日
第6回目	2014年2月11日
第7回目	2014年2月23日
第8回目	



森林が多く、のどかで良い場所です!!



会場はこの様になっております!!

「笑顔と健康の為に」



イベント開催プログラム!!

- ①講習会 → 身体とは、運動とはどういう事か説明
- ②運動指導 → 実際に皆さんで運動!!
- ③調整療法 → 個別で身体のお悩み改善
- ④歓談・昼食 → 楽しく歓談♪

※参加者の状態にあわせ、随時プログラム変更

①講習会



④歓談・昼食



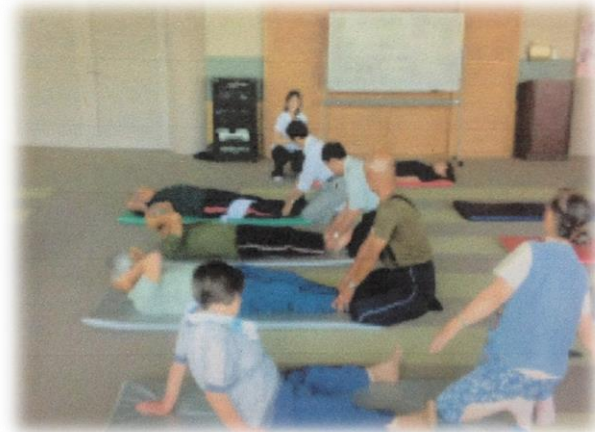
②運動指導



③調整療法



サーキット
トレーニング♪



「笑顔と健康の為に」



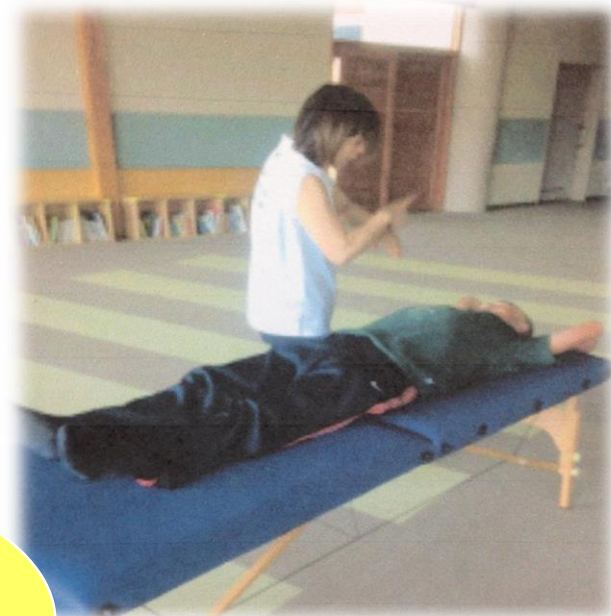
最後に・・・

運動をしていただくにあたって、ただ運動すれば良いという訳ではありません。

正しい運動をして初めて効果が生まれるものです。

聴覚障害がある方へ、正しく情報を伝える事は大変難しく、一步間違えれば誤解を招き、危険を伴います。

また、言葉の全てを手話に代える事はできません。限られた表現のなかで正しく情報を提供するためにも、様々工夫をすることはもちろん、多大なる責任を感じるイベントとなりました。



皆さん笑顔で参加
下さいました♪

